

診 療 科 研 修 コ ー ス  
診療科研修名【血液内科コース】

1 . 診療科 ( 専門領域 )

血液内科

2 . コースの概要

内科系基礎プログラムと血液内科プログラムを研修

3 . 取得資格

3 年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医 ( )

4 . 長期目標

- ・ 血液疾患を主体とし、臨床腫瘍学に精通する
- ・ 分子生物学的診断・分子標的療法に精通し実施できる
- ・ 通常化学療法から大量化学療法さらには移植療法の適応・実際について精通し実施できる
- ・ 化学療法に伴う副作用・合併症に精通し適切な予防を実施し、発症時には速やかに正しく対応できる
- ・ 代表的疾患 ( リンパ腫、急性白血病、慢性白血病、MDS、ITP、再生不良性貧血、骨髄腫 ) の診断と治療
- ・ 検査結果 ( 染色体検査、表面マーカー検査、病理診断標本、遺伝子検査 ) の解釈
- ・ 通常化学療法、大量化学療法、自家末梢血幹細胞移植、同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植、臍帯血移植
- ・ 高齢者血液疾患の管理 ( QOL と治療効果のバランス )

5 . 取得手技

- ・ 分子生物学的手法を含めた正確な検査の計画と結果の解釈
- ・ 通常化学療法、大量化学療法、自家末梢血幹細胞移植、同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植、臍帯血移植の計画と実施
- ・ 高度の骨髄不全・免疫不全時の無菌室管理
- ・ 骨髄穿刺・腰椎穿刺・骨髄生検
- ・ 末梢血幹細胞、骨髄の採取・凍結・解凍及び移植
- ・ 臍帯血の解凍及び移植
- ・ 独力による CV カテーテルの挿入・管理

6 . 研修期間

3 年間

7 . 募集人数

2 名

## 8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数（年間）	目標症例数（1年間）
リンパ腫	60	15
急性白血病	15	5
慢性白血病	5	2
MDS	15	5
ITP	5	2
再生不良性貧血	5	1
骨髄腫	15	5

手技	件数（年間）	目標件数（1年間）
IVH	15	10
骨髄生検	15	10
末梢血幹細胞採取	25	10
自家移植	15	5
同種移植	5	2

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 0 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 前田裕弘

〃 診療科経験年数 31 年

## 10. コンセプト

- ・ 血液疾患を主体とし、臨床腫瘍学に精通する。
- ・ 分子生物学的診断・治療、移植療法など血液疾患の診断法・治療法の進歩は非常にめざましいものがある。患者一人一人に役立つ治療の確実性（EBM）を基に、更なる先進性（研究的治療法）の両立を目指している。その結果、日常診療が最先端治療、研究と癒合しているのが特徴である。
- ・ 化学療法および造血幹細胞移植療法施行すると同時に施行中の全身管理のできる能力を養う。

## 11. 一般目標

- ・ 代表的疾患（リンパ腫、急性白血病、慢性白血病、MDS、ITP、再生不良性貧血、骨髄腫）の診断と治療
- ・ 検査（染色体検査、表面マーカー検査、病理診断標本、遺伝子検査）の計画と結果の解釈
- ・ 通常化学療法、大量化学療法、自家末梢血幹細胞移植、同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植、臍帯血移植の計画と実施
- ・ 高齢者血液疾患の管理（QOL と治療効果のバランス）

- ・適宜症例に応じて、学会に発表する（年1～2回）

### 1.2. 関連領域の研修に関して

施設内での研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可
---------	-----------------------------	-----------------------------

施設外との交流研修	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可
-----------	-----------------------------	-----------------------------

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

### 1.3. 共通領域研修について

- ・内科系カンファレンスの開催（週1回）
- ・全科合同医局会・CPC（年6回）
- ・医療安全研修会の開催（年4回）
- ・ICT講習・NST講習（適時）